

会議録

会議名	第31回 海津市地域公共交通会議
日時	令和4年10月24日(月) 10:00～
場所	海津市役所 西館1階 大会議室
出席者	委員22名 事務局3名
傍聴人	1名
議題等	議題1 名古屋圏アクセスバス アンケート調査の実施について 議題2 デマンド交通停留所の増設について

協議・報告事項

【議題1】 名古屋圏アクセスバス アンケート調査の実施について

事務局から説明 (資料1)に基づき説明)

資料1 海津市名古屋圏アクセスバス アンケート調査の実施について

○委員からの質問・回答、意見等 (→事務局回答、⇒他委員回答)

- ・アンケート対象は平田町と海津町の住民とのことだが、南濃町の住民を対象としたアンケートを実施する予定はあるか。
→名古屋圏アクセスバスは海津市から東方面に向かうものであり、南濃町在住の方は以前開催した意見交換会でも名古屋方面には養老鉄道を利用するという意見が多かったため、今回は南濃町を対象外とした。
- ・今回のアンケートは、対象を海津町と平田町とした上で、住民基本台帳を用いて対象者を抽出するとのことだが、エリアは限定せず町内均一に行うということか。
アクセスバスの利用時間帯の設問について、休日だといつ頃使いたいかわかりづらいため、選択肢の形より「〇〇時台」と具体的に記入してもらった方がよいのではないか。
また、利用意向の有無は、運行頻度、始発時刻、終発時刻によるところが大きいと考えられるため、ニーズ把握にあたっては、そのような設問を設けてはどうか。
→アンケート調査票の内容について、ご指摘を踏まえて修正する。
- ・アクセスバスが接続する駅についての設問について、「その他()駅」という選択肢があると、「名古屋駅」と記載されかねないため、検討してほしい。
→ご指摘を踏まえて修正させていただく。
- ・南濃町から名古屋圏へは養老鉄道を利用するため、南濃町をアンケート対象としないとのことだが、この点に関して、養老鉄道を守る立場としては、どんどん鉄道を利用してほしいし、なくしたくないと思っている。しかし、南濃町民がアクセスバスについてどのように感じどのように考えているかも聞いた方がよいのではないか。養老鉄道を利用せず、コミバス等を利用している方もおり、南濃町の人も関心がある。

→アンケートの配布対象を全市とするよう進めたい。

アンケート票の発送数を1,000世帯としたが、その数については別途検討する。

・今回のアンケートでは、アクセスバスをどのくらい利用するかという視点が中心となっているが、今まで養老鉄道を利用されていた方が、こちらに転換する可能性もあるため、アクセスバスが養老鉄道の利用にどのように影響を与えるかの視点も持って分析できるとよい。

・10月からの定時定路線バスの再編で、市内から養老鉄道へのアクセスが改善されたが、市民の皆様には充分周知出来ていないと感じる。養老鉄道にもコミュニティバスの情報の掲載等について協力いただいている。養老鉄道へのアクセスが改善され、運賃面でも名古屋駅へは養老鉄道経由の方が安く、養老鉄道の利用者が減少するとは感じていない。利便性が高まったことを市報にも掲載して、皆様には周知することを最優先にしてほしい。

→今回発行した公共交通利用ガイドのコミュニティバス時刻表にも養老鉄道の時刻を記載し、接続が分かるように掲載した。今後も市報等も活用して周知を図っていききたい。

○原案のとおり承認

【議題2】 デマンド交通停留所の増設について

事務局から説明（資料2に基づき説明）

資料2 デマンド交通停留所の増設について

○原案のとおり承認

5. その他

- ・名阪近鉄バスICカード導入、バスロケーションシステムの拡大について説明
- ・にしみのライナーについて説明

6. 閉会

以上